

Twinings

Kofax CaptureとKofax VRS Eliteを使用することにより、ドキュメントを取り込み、Microsoft SharePointに簡単かつ効率的に保管し、取得することができます。

課題

Twinings の最初のデータ管理システムは、Kofax® スキャンニングソフトウェアを使用して、事業内の人事および財務関連ドキュメントを取り込み、IBM社から提供されるFileNet Content Servicesを利用して保管及び管理していました。しかしながら、財務部門だけで毎月、3,500枚以上の請求書を処理しており、FileNetシステムは大量の情報を処理するには扱いにくく、時代遅れだと感じていました。

請求書と慎重に取り扱うべき人事ドキュメントが増加する一方で、Twinings の経営陣は物理的なファイル保管への依存を減らし、組織がデータを受領後すぐにスキャンできる、アップグレードしたドキュメント管理システムを実行する必要があることを認識していました。

「私たちは日常的に大量のデータを取り扱わなければなりません。請求書を迅速に処理しなければなりません、時代遅れのシステムはコストがかかり、大量の紙と時間を消費する場合があります」とTwiningsのアカウントサービスマネージャーのSandra Burch氏は説明します。

「様々な部門で処理し、転送する必要がある大量の請求書を保管するには、多くの時間とスペースが必要な場合があります。紙が少ないオフィスは全体的なスピード、効率、制御、オペレーションの質を向上できることとなります」と Burch氏は続けます。

アクセスの容易性は、組織が直面するもう1つの課題でした。FileNetシステムでは、オンラインのアーカイブでファイルを検索するのが困難な場合がよくありました。

「請求書を追跡し、必要に応じて取引をやり直さなければならない場合がよくあります。問合せ内容と書類との違いを確認するため、ファイルにすぐにアクセスできることが非常に重要です」と Burch氏は続けます。

ソリューション

2009年、TwiningsはMicrosoft Implementation PartnerとしてDeltaSchemeと協力し、企業イントラネットおよびドキュメント管理システムとして Microsoft Office® SharePoint Serverを実装し、既存のFileNetをリプレースすることにしました。

ドキュメントをスキャンし、デジタルドキュメントを簡単かつ効率的にSharePointに取り込み、保管し、取得できます。ソリューションの組み合



TWININGS

紅茶専門メーカーのTwinings は、世界中の100以上の国で、200を超える紅茶を販売する国際的な企業です。会社が拡大するにつれ、人事と財務部門が安全に管理し、保管しなければならない取引文書が増加しました。

使用する製品

- ◆ Kofax Capture™
- ◆ Kofax VRSElite™

重点: 人事

「Kofax および SharePointソリューションは、ドキュメントを特定、分類し、一元管理されたストレージプラットフォームに転送することで物理的な保管スペースを不要とします」

Twinings のアカウントサービスマネージャー、Sandra Burch 氏

わせは、Kofax CaptureとKofax VRS Eliteを選択し、同社のスタンダードとなりました。

Kofax Captureは、デジタルドキュメントデータを作成するためにドキュメントとフォームをスキャンし、検索用途の為にインデックスデータを抽出し、様々なリポジトリとアプリケーションに画像と関連データを配信することで、業界最先端のスキャンテクノロジーを提供しました。これは規制とコンプライアンスの取り組みを向上する一方で、検索コストを大幅に削減できます。Kofax VRS Eliteは、Kofaxの特許取得済み画像補正および仕上げソフトウェアです。Kofax VRS Eliteは手作業によるスキャンの準備時間を削減し、スキャンした画像の質を向上するだけでなく、スキャンとドキュメントキャプチャプロセスの生産性の両方を大幅に向上します。

SharePointは、既存のビジネスプロセスに柔軟に対応するため、ドキュメント管理リポジトリのアップグレードとして選択されました。信頼できるデータキャプチャソリューションとして、Kofaxソフトウェアは新しいシステムとシームレスに統合可能でした。

結果

KofaxとMicrosoft SharePointを組み合わせたソリューションを使用することで、人事と財務部門は従来、紙であったデータとそのコンテンツ両方について一元管理されたシステムにより、業務の生産性を向上できました。

「情報が文書で受け付ける際、その情報を処理する明確なプロセスがなければ、データは指定された部署や担当に届かず、最悪は紛失したり、誤った部署に送信され、あるいは廃棄されたりします」とBurch氏は説明します。「KofaxとSharePointのソリューションはドキュメントを特定し、分類し、一元管理されたストレージプラットフォームに転送し、物理的な保管スペースの必要性を低減できます」

このプラットフォームを使用して、人事と財務スタッフは場所の試業に関わらず、何時間や何日間も待つことなく、ほんの数分間で様々なドキュメントにアクセスできます。

FileNetから移行して以来、TwiningはKofaxキャプチャソフトウェアを組み込みながら、Microsoft SharePoint Server 2010にアップグレードが完了しました。Twiningの情報管理の課題に対する信頼できるソリューションとして、このプラットフォームは同社の他の業務に柔軟に展開ができています」

私たちは部署の他の業務についても、Kofaxに安心して任せる事ができよう。KofaxとSharePointの移行プロセスについて印象的だったことは、DeltaSchemeの僅かなテスト工程でソフトウェアが稼働したことです。Kofax CaptureとKofax VRS Eliteを使用して、Twiningは数百、数千ものドキュメントやデータを迅速且つ正確に管理でき、従業員に様々な業務に集中させることができます」とTwiningのビジネスシステムアナリスト・開発者のMarc Stamper氏は締めくくります。

グローバルにおけるお客様のサクセスストーリーの詳細は、kofax.jpをご覧ください。

